

第9期旭川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における 認知症対応型共同生活介護の整備方針の見直しについて

1 第9期計画における認知症対応型共同生活介護の整備方針

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の需給状況は、今後の要介護認定者の増加を考慮しても、第8期計画において整備した定員の範囲内と見込めることから、第9期計画においては現状を維持することとしている。なお、第8期計画において整備した定員は1,416人（期間内の指定等候補者選定分を含む）となっている。

2 第9期計画策定後の状況

令和5年度に指定等候補者に選定した2事業者（定員36人）が第9期計画策定後に辞退したほか、令和6年7月末に1事業所（定員18人）が廃止となったことから、第9期計画最終年度の定員は1,362人となる見込み（第9期計画策定時と比べて-54人）。

3 本市における認知症対応型共同生活介護の需給状況等

認知症高齢者数は増加傾向にあり、第9期計画の最終年度である令和8年度末時点での推計値は14,327人となっている。平成31年（令和元年）からの定員、入居者数、利用率の推移を見ると、いずれも低下傾向にあったが、令和6年に入居者数と定員充足率（入居者数/定員）の増加が生じている。

認知症高齢者数の推移（各年10月1日）	グループホームの需給状況（各年4月1日）
○認知症高齢者数（自立度Ⅱ以上） 令和元年：11,690人 令和2年：12,887人 令和3年：12,935人 令和4年：13,405人 ～ 令和8年度末：14,327人（推計）	○定員・入居者数・定員充足率 平成31年：1,352人・1,309人・96.8% 令和2年：1,352人・1,301人・96.2% 令和3年：1,352人・1,282人・94.8% 令和4年：1,334人・1,243人・93.2% 令和5年：1,319人・1,232人・93.4% 令和6年：1,350人・1,280人・94.8%

※ 定員は休止施設を含む

4 整備方針の見直し

第9期計画は、認知症対応型共同生活介護について整備等を見込んでいないが、本市における認知症高齢者数の増加が見込まれる中、計画策定時と比べて、定員見込み数の減少が生じる一方で入居者数の増加が生じていることから、整備方針を見直しし、第8期計画において見込んでいた定員（1,416人）の範囲内で整備することとする。

【第9期計画：整備方針案】※現行の記載内容に下線部を追加

近年の入居者数は減少傾向にあり、令和5年においては入居申込者数を上回る空床があるほか、今後の要介護認定者数の増加を考慮しても、第8期計画において整備した定員の範囲内と見込めることから、本計画においては現状を維持することとします。

本市の認知症高齢者数の増加が見込まれる中、計画策定時と比べて、定員見込み数の減少が生じていることから、整備方針を見直しし、第8期計画において見込んでいた定員（1,416人）の範囲内で整備することとします。

なお、整備に当たり、現時点では、定員充足率の状況から需給状況がひっ迫している状況はうかがわれないため、当面、既存施設活用（増床、類似施設からの転用）を優先します。